

都志見病院

医療機関2025プラン

平成30年 9月 策定
令和2年 1月 改定

【基本情報】

医療機関名	医療法人 医誠会 都志見病院
開設主体	医療法人 医誠会
所在地	萩市大字江向413-1
許可病床数	234床
(病床の種別)	一般病床 175床、 療養病床 59床
(病床機能別)	急性期 118床、 回復期 57床、 慢性期 59床
稼働病床数	234床
(病床の種別)	一般病床 175床、 療養病床 59床
(病床機能別)	急性期 118床、 回復期 57床、 慢性期 59床
診療科目	外科、消化器外科、脳神経外科、心臓血管外科、整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科、内科、消化器内科、神経内科、呼吸器科、循環器科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、皮膚科、形成外科、麻酔科
職員数(常勤換算)	常勤 287名 非常勤 33.2名 計 320.2名
・ 医師	常勤 18名 非常勤 2.6名 計 20.6名
・ 看護職員	常勤 121名 非常勤 15.6名 計 136.6名
・ 専門職	常勤 66名 非常勤 1.9名 計 67.9名
・ 事務職員	常勤 82名 非常勤 13.1名 計 95.1名

【1. 現状と課題】

① 自施設の現状

(届出入院基本料) 一般病棟入院基本料(10対1)、地域包括ケア病棟入院料2、療養病棟入院基本料

(一般病棟の平成29年度実績) 平均在院日数 17.3日、病床稼働率 68.1%

(特徴) 萩医療圏で唯一の地域包括ケア病棟57床を持つ

② 自施設の課題

- ・人口減少に伴い医療需要が縮小する中で、機能別病床数（急性期・回復期・慢性期）をどの様な配分とするか
- ・大学に依存している医師確保の現状では医師不足の解消が難しい為、新たな仕組みの構築を検討

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～②を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

- ・**急性期と回復期を中心とした地域完結型の中核病院を目指すべく、圏域の医療機関や関係諸機関と診療科や病床機能について検討する。**
- ・地域包括ケアシステムの一端を担う為に、在宅医療をサポートする
- ・災害拠点病院として、傷病者の受け入れとDMATの派遣

② 今後持つべき病床機能

- ・**圏域の医療機関や関係諸機関と調整し、回復期や緩和ケアの病床の設置を検討する。**

③ その他見直すべき点

・経営形態の見直し

- ・適正な急性期・回復期病床数の検証と、訪看や居宅など在宅の機能強化

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成30年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	検討中
急性期	118		
回復期	57		
慢性期	59		
休棟等			
(合計)	234		
介護保険施設へ移行予定	—		—
うち、介護医療院	—		—

<年次スケジュール> ※今後のスケジュールがある場合に記入

年度	取組内容	到達目標
2019年度 ～ 2021年度	・中核病院形成に向けた検討協議	・中核病院形成方針の決定

③ 診療科の見直しについて ※検討の上、見直さない場合には、記載は不要

検討中

③ その他の数値目標について ※該当項目がある場合に記入

--

【4. その他】(自由記載)

<u>萩医療圏は医療従事者の不足や高齢化により、喫緊の課題として医療体制の再構築が求められている。今後はこの課題解決のため、中核病院形成による医療機能の再編や医療提供体制の維持・確保にさらに尽力する。</u>
--